

寺井 紗知子 議員

「初期支援教室」の設置は必要

Q 問 はじめて小中学校へ就学する外国人児童生徒を対象に、学校教育で必要な生活指導や初歩的な日本語指導を集中的に行う取り組みについて伺う。

A 答 現在、初期支援教室を開設する必要性が生じている。その場所や人的配置など、設置に向けて検討を進めており、できるだけ早い段階で開設できるよう考えている。

デマンド型乗り合いタクシーの導入はどうか

Q 問 市民サービスの向上と効率的な運行が可能と思うが、モデル地区を設定し、実証運行する考えは。

A 答 デマンド型運行は、長所もあるが、欠点も多くある。見直しの中では、本市の現状にはそぐわないという結論に至った。自主運行

戸塚 文彦 議員

「米」利用の新たな可能性を追求すべきでは

Q 問 減反対策として米粉や飼料用米の活用、袋井産米の輸出促進を検討すべきと考えるが。

A 答 助成制度を活用するとともに、他の産地との差別化を図っていききたい。輸出促進については、水田農業推進協議会で検討してもらいたい。

英語よりもまずは日本語の習得が必要では

Q 問 2011年度から「外国語活動」が必修化される。国語授業のこれまで以上の指導充実を望むが。

A 答 新学習指導要領では、国語科の授業数がふえることとなっている。本市で行っている読書活動をより推進し、他教科でも言語活動が重視されるよう各校に指導している。

バスについて最小の経費で最大の効果が得られるよう年度末までに結論を出したい。

袋井市民病院の24時間院内保育はどうか

Q 問 看護師などの働きやすい環境整備、また人材確保としても必要ではないか。

A 答 24時間保育体制については、費用や施設などの課題もあるので、具体的な運営方法、潜在需要がどのくらいあるのかなどの点も含め研究をしていきたいと考えている。



袋井市民病院の院内保育所

掛川市西部循環バスのJR愛野駅乗り入れは再度検討すべき

Q 問 一旦白紙撤回か、公共交通会議を袋井市でも開催する考えはあるか。

A 答 掛川市の地域公共交通会議で協議すべきものと考えており、本市で開催する必要はないと判断している。市民が可能な限りいろいろな選択肢を持った方がいいと考える。



掛川市西部循環バスが乗り入れされるJR愛野駅

市政に対する一般質問

よりよいまちづくりを目指して

